

メタンハイドレート資源開発研究
環境影響評価分野の研究開発
平成13年度成果報告

平成14年7月2日

財団法人エンジニアリング振興協会

ENAA-SEC

平成13年度の研究開発内容 (1)

1. 海域環境調査評価サブグループ

ベースライン調査で必要となる調査項目の洗出し
データベースの概念設計・コンテンツの検討

2. モニタリング技術サブグループ

2.1 ガス漏洩モニタリング

< 技術調査 >

溶存メタンセンサー (“METS ”)、微生物センサー等

2.2 地層変形モニタリング

< 技術調査 >

地すべり等の事例、既存センサー仕様等

平成13年度の研究開発内容 (2)

3.HSE調査サブグループ

< 文献調査 >

大水深海域 (1000m以深)に関する特有の課題 問題点

4.地層変形予測技術サブグループ

4.1 感度解析

< 技術調査 >

解析プログラム (地盤変形、地盤内流動)

4.2 地盤物性の評価

< 文献調査 >

MH含有地盤の物性、力学試験手法等

13年度実施体制 (環境影響評価Gr)

グループリーダー

大関真一 (ENAA)

グループサブリーダー

森田一郎 (ENAA)

海域環境調査評価SG

SGL 鋤崎俊二

中田東海大教授

日本海洋生物研究所

日本エヌ・ユー・エス

モニタリング技術SG

SGL 藤野良亮

徳山東大教授

石川島播磨重工業

石川島検査計測

大成建設

応用地質

HSE調査SG

SGL 岡田 陽

日本オイルエンジニアリング

地層変形予測技術SG

SGL 傳田 篤

赤川北大教授

清水建設

関東天然瓦斯開発